

人事院契約監視委員会 第29回会議 議事概要

○ 開催日時

令和5年7月12日（水）

○ 開催方法

Web開催

○ 人事院契約監視委員会（敬称略）

委員長 工藤裕子（中央大学法学部教授）

委員 西出順郎（明治大学ガバナンス研究科専任教授）

野澤正充（立教大学法学部教授・松田綜合法律事務所弁護士）

○ 議事概要

1 令和4年度下半期に人事院が締結した契約の審査

(1) 令和4年度下半期の契約案件に係る概況の報告

事務局から、令和4年度下半期の契約案件に関し、一般競争契約（22件）、競争性のある随意契約（企画競争・公募）（16件）及び競争性のない随意契約（3件）についての内輪及び入札その他の契約手続の概況等が報告され、特に意見や質問はなく、報告は了承された。

(2) 個別契約案件の審査

契約案件の中から①から③までの3件を対象として取り上げることが決定され、各案件について、契約の内容、手続等に関する事務局及び各調達原課の説明を聴取し、次のような質疑を経て、委員会の結論として特に問題ないとして了承された。

なお、委員会としての意見及び勧告は特になかった。

〔一般競争入札（1者応札）〕

① 契約件名： 理工系大学生・大学院生の就職先決定に係る動向の調査・分析業務

契約相手方： 株式会社マイナビ

契約金額： 5,225,000円

契約日： 令和4年10月3日

担当部局： 企画課採用企画班

委員の意見・質問	回答・説明
・ ここまで限定した条件を設定する必要があったのかとい	

う点について今後研究する必要があると考える。 - 調査の信憑性を考えるとある程度条件を厳格にする必要があると考える。 - 理工系大学生・大学院生の就職活動段階における情報をマイナビが一番持っているということか。 - 仕様書にサンプル数やターゲット、アンケートの配布回数等を記載しないと、どの企業も見積もりを出せないのではないか。 マイナビと同程度に学生へのアクセスが出来る他社がある場合は競合を、ない場合は当初から随意契約を行えば、一般競争入札を行う取引コストを削減できるのではないか。 - 落札率99%は気になる。	- 学生とのコンタクトは圧倒的にマイナビが多い。 - 今後同様の調査を行う際には、仕様書や見積もりの取り方を固め、より多くの業者に参加してもらえる内容に改善したい。
--	---

(結論) 委員会としての意見は特に問題なしとする。

〔一般競争入札（低入札価格調査）〕

- ② 契約件名： 研修等大講義室AV設備更新工事
 契約相手方： 株式会社東和エンジニアリング
 契約金額： 16,610,000円
 契約日： 令和4年11月10日
 担当部局： 公務員研修所

委員の意見・質問	回答・説明
予定価格が高すぎたということはないか。市場価格を見ながら決めた価格なのか。	工事可能な2者に仕様書を確認してもらい見積書の作成を依頼したもの。入札価格は企業努力を行ったものと認識している。

(結論) 委員会としての意見は特に問題なしとする。

〔一般競争入札（緊急随契）〕

- ③ 契 約 件 名： 中央合同庁舎 5 号館別館で使用する電気
契 約 相 手 方： ゼロワットパワー株式会社
契 約 金 額： 20,395,252円
契 約 日： 令和 4 年 1 0 月 5 日
担 当 部 局： 会計課

委員の意見・質問	回答・説明
・ 仕様書の一部の記載を変更すれば契約可能とあるが、どの部分を変更したのか。	・ 当初「当該地域を管轄する一般送配電事業者が特定規模需要に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）によるものとする」としていたが、各社の約款に基づいて契約することができなくなるため、この部分を削除した。

（結論）委員会としての意見は特に問題なしとする。

2 「令和 4 年度人事院調達改善計画」の自己評価結果

事務局から第 28 回契約監視委員会では了承された「令和 4 年度人事院調達改善計画」の達成状況に関する自己評価結果^(※)について説明し、了承された。

(※) 後日人事院ホームページ「令和 4 年度人事院調達改善計画の自己評価結果」に掲載